

日時：8月4日(日) 13:00～14:30

場所：フクラシア東京ステーション 6F F会議室

出席者：川口善治先生、杏林舎 片山・大山

議題：JSR 抄録号および投稿規定について

議論内容：

JSR 3号(抄録号)に関して

・全体スケジュール説明(別紙1)(大山)

納品時期については、毎年主催校の都合で会期1ヶ月前の前後で納品されているので、コンベンションと調整してほしい(川口先生)

・印刷部数の確認(片山)

4,000部を予定している(川口先生)

・発送費に関して(片山)

前回発送を担当したDNPの価格が業界的にも最安値のため、今後も発送に関してはDNPに依頼することを継続しても良いかと思われず。(片山提案)

抄録制作の予算には杏林舎で発送した見積りの概算を盛り込んでいる。

発送時期が近づいたタイミングで杏林舎より毎日学術フォーラム 鈴木めぐみ様経由で確認すること(川口先生)

・査読システム説明(別紙2)(大山)

査読システムの仕様や評価項目は大会長の松山先生にご決定いただくので、杏林舎から運営会社のコングレを通して確認を進めること。(川口先生)

次回大会のコングレからの請求に査読システムの費用が含まれていないか、注意する必要がある。(川口先生)

・日程表について(大山・片山)

以前、日程表(別紙3)が見つらいとのご要望があったため、杏林舎が過去に作成したサンプル(別紙4)をご覧いただいた。

サンプルの日程表も見やすいが、最終的な判断は大会長 松山先生にさせていただくので、杏林舎からコングレを通して確認を進めること。(川口先生)

・アプリについて(片山)

前回同様、「MICEnavi」を採用する想定で良いか確認させていただいた。

MICEnaviの採用可否は大会長 松山先生にご決定いただくので、杏林舎からコ

ングレを通して確認すること。(川口先生)

・投稿規定について(片山)

投稿規定改定の告知とリリースについて、投稿を受付する前の段階で会員の皆様には告知する必要があるため、次号の脊椎脊髄病学会号にて掲載を予定。

尾島様に9号の入稿締め切りを確認し、9号に掲載し告知を行う(川口先生)

まとめ

・3号抄録に関わる杏林舎の業務は下記となります。

演題査読システム、抄録集、ポケットプログラム(大正製薬)

オンラインジャーナルサイトの演題検索などは、会期後のアーカイブとして、データを保存し蓄積するプラットフォームとして活用を進める。

・大会ごとの主催校及びコンベンションで担当する業務は下記となります。

プログラム編成、電子抄録集、その他

・投稿規定改定が9月号に掲載されるので、会員発送の際にこういった告知方法にするのか、長谷川先生・川口先生にて協議する。

案) 色紙などで投稿規定が改定されていることをお知らせする。